

逃げどきマップのつかいかた

逃げどきマップとは？

逃げどきマップは、河川管理者から提供された浸水想定区域図を参考に、清須市が独自に作成したものです。本ガイドブックに掲載の逃げどきマップは、主に清須市に大きな影響をおよぼすおそれのある**庄内川・新川・五条川**が、約1,000年に一度（想定最大規模）の大雨で決壊した場合に清須市内の各箇所において、どのような備えや行動を、どのようなタイミングで行っておくべきなのかを示しています。

なお、状況によっては、木曽川やその他の中小河川などが影響をおよぼすおそれもあるため、併せて河川別の浸水想定区域図も確認しておきましょう。

各河川の浸水想定については『浸水深マップ』P23-32へ、

庄内川・新川・五条川（下流部）

3種類の逃げどきマップを掲載しています

逃げどきマップで行動指針を判定

【浸水後、自宅滞在が困難な住居】では、**浸水前の早めの自宅外避難**が重要です。一方、【浸水後、自宅滞在が可能な住居】では、**浸水後の無理な自宅外への避難はせずに「自宅に滞在」**することが安全です。

「自宅の位置」や「自宅の形態（構造）」や「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。

命を守る
対応

避難をするなら浸水前に
早めの避難！

命を守る
対応

浸水後も自宅滞在が可能なら
家屋や家財の被害軽減を！

洪水だけでなく

内水氾濫

の危険もあります

情報の入手方法については『情報の入手方法』P17-18へ、

内水氾濫は、主に清須市内に降った雨によって局所的に発生します。大雨による災害が発生するおそれがあるときには積極的に情報収集を行い雨の状況を確認しておきましょう。

排水ポンプがあるので安心？

市内にたまった水は、ポンプによって河川へ排水されます。しかし、その河川自体の水位がすでに非常に高い状態だと、今度は逆に、**ポンプによる排水が河川氾濫の危険を高める原因**となってしまいます。

平成12年9月の東海豪雨の教訓から、河川水位上昇による堤防の決壊、越水を防ぐため、対象流域内の排水ポンプを排水調整しています。排水ポンプが停止した流域では、用水路、排水路、側溝から水があふれ、住宅地、道路等が浸水するおそれがあります。

防災無線等で排水ポンプの排水調整をお知らせしますので、浸水の状況を確認し、早めに安全な場所に避難するか、屋内の高い場所に避難するなど命を守る行動をとってください。

排水ポンプの排水調整に
関する内容を確認できます→

愛知県 尾張建設事務所 新川流域排水調整

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/owari-kensetsu/0000008893.html>



あなたの行動指針は？さっそく確認しましょう！

- 1 調べたい河川の[逃げどきマップ]を開き、自宅の色や模様を確認
- 2 巻末の[逃げどきマップの判定フロー]を広げ、スタートから矢印に沿って質問に回答
- 3 **あなたの行動指針**を確認
- 4 行動指針をふまえ、**あなたの避難先**を検討し記入
⇒ その他の河川についても同様にして行動指針をふまえ、避難先を記入

災害時に発表される情報や必要な行動については

『災害時の情報と命を守るための行動』P07-08へ、



逃げどきマップは次のページから ▶

庄内川	P11-12 へ
新川	P13-14 へ
五条川（下流部）	P15-16 へ

このマップは約 1,000 年に一度（想定最大規模）の大雨での庄内川の氾濫による浸水を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。

マップを拡大してご覧いただけます

逃げどきもマップ

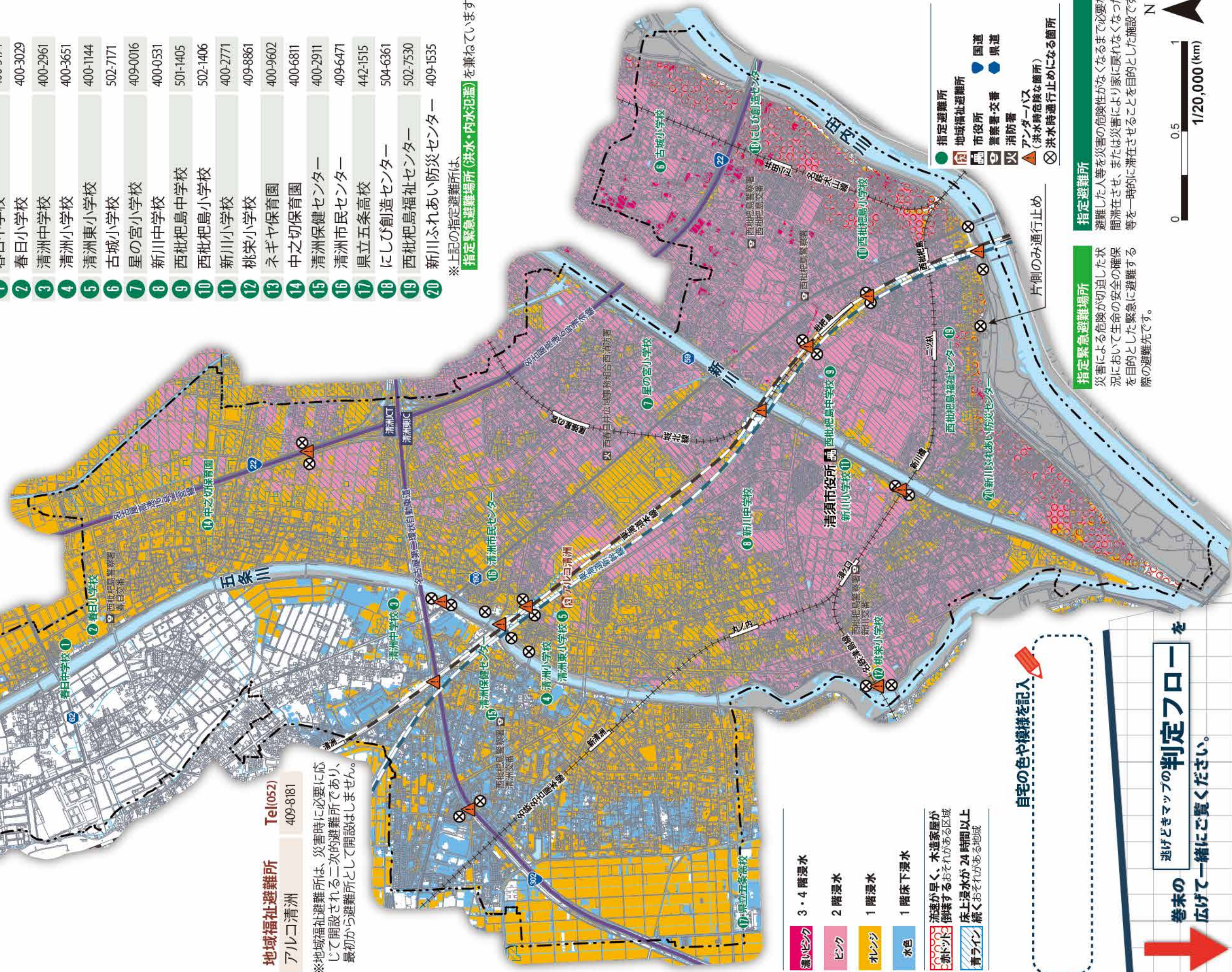
庄内川が氾濫したら

No.	指定避難所	Tel(052)
1	春日中学校	400-3174
2	春日小学校	400-3029
3	清洲中学校	400-2961
4	清洲小学校	400-3651
5	清洲東小学校	400-1144
6	古城小学校	502-7171
7	星の宮小学校	409-0016
8	新川中学校	400-0531
9	西枇杷島中学校	501-1405
10	西枇杷島小学校	502-1406
11	新川小学校	400-2771
12	桃栄小学校	409-8861
13	ネギヤ保育園	400-9602
14	中之切保育園	400-6811
15	清洲保健センター	400-2911
16	清洲市民センター	409-6471
17	県立五条高校	442-1515
18	にしび創造センター	504-6361
19	西枇杷島福祉センター	502-7530
20	新川ふれあい防災センター	409-1535

地域福祉避難所
アルコ清洲 Tel(052) 409-8181

※地域福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所であり、最初から避難所として開設はしません。

※上記の指定避難所は、指定緊急避難場所（洪水・内水氾濫）を兼ねています。



- 3・4 階浸水
- 2 階浸水
- 1 階浸水
- 1 階床下浸水

流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
床上浸水が 24 時間以上続くおそれがある地域

自宅の色や模様を記入

巻末の
逃げどきマップの判定フローを広げて一緒にご覧ください。

指定緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況において生命の安全の確保を目的とした緊急に避難する際の避難先です。

指定避難所
避難した人等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった人等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。



逃げどきマップ

フックなどにぶら下げてご覧いただけます

このマップは約 1,000 年に一度（想定最大規模）の大雨での新川の氾濫による浸水を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。

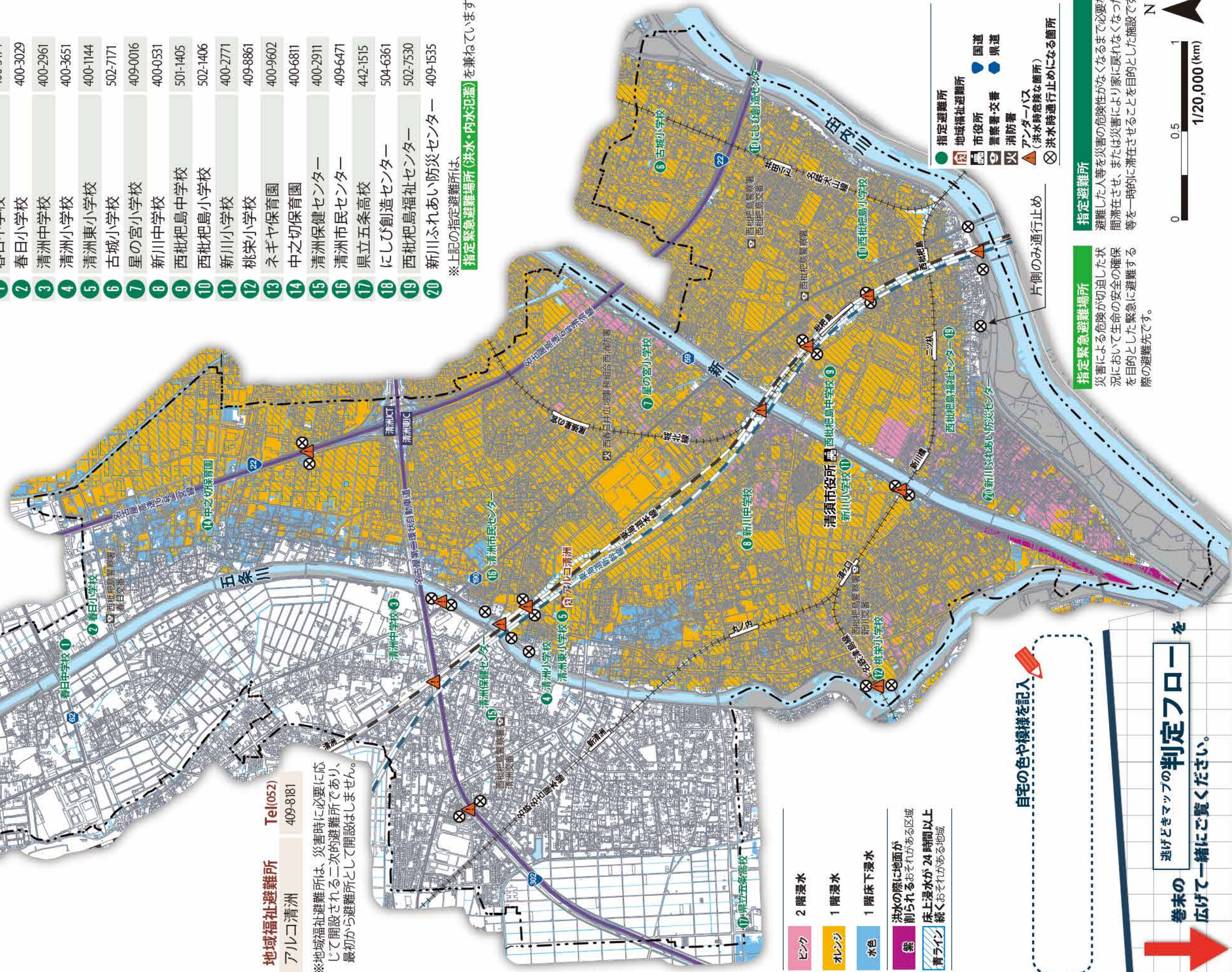
新川 が氾濫したら

No.	指定避難所	Tel(052)
1	春日中学校	400-3174
2	春日小学校	400-3029
3	清洲中学校	400-2961
4	清洲小学校	400-3651
5	清洲東小学校	400-1144
6	古城小学校	502-7171
7	星の宮小学校	409-0016
8	新川中学校	400-0531
9	西枇杷島中学校	501-1405
10	西枇杷島小学校	502-1406
11	新川小学校	400-2771
12	桃栄小学校	409-8861
13	ネギヤ保育園	400-9602
14	中之切保育園	400-6811
15	清洲保健センター	400-2911
16	清洲市民センター	409-6471
17	県立五条高校	442-1515
18	にしび創造センター	504-6361
19	西枇杷島福祉センター	502-7530
20	新川ふれあい防災センター	409-1535

地域福祉避難所 Tel(052)
アルコ清洲 409-8181

※地域福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所であり、最初から避難所として開設はしません。

※上記の指定避難所は、**指定緊急避難場所（洪水・内水氾濫）**を兼ねています。



ピンク 2 階浸水
オレンジ 1 階浸水
水色 1 階床下浸水
紫 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域
青ライン 床上浸水が 24 時間以上続くおそれがある地域

自宅の色や模様を記入

**巻末の
逃げどきマップの判定フロー**
を広げて一緒にご覧ください。

指定緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況において生命の安全の確保を目的とした緊急に避難する際の避難先です。

指定避難所
避難した人等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった人等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。



指定避難所
地域福祉避難所
市役所
警察署・交番
消防署
アンダーパス
（洪水時危険な箇所）
洪水時通行止めになる箇所

片側のみ通行止め

このマップは約 1,000 年に一度（想定最大規模）の大雨での五条川の氾濫による浸水を想定した計算結果に基づき作成されています。しかしそれは、あくまで想定された計算上での一つのシナリオにすぎません。

フックなどにごら下げてご覧ください

逃げどきもマップ

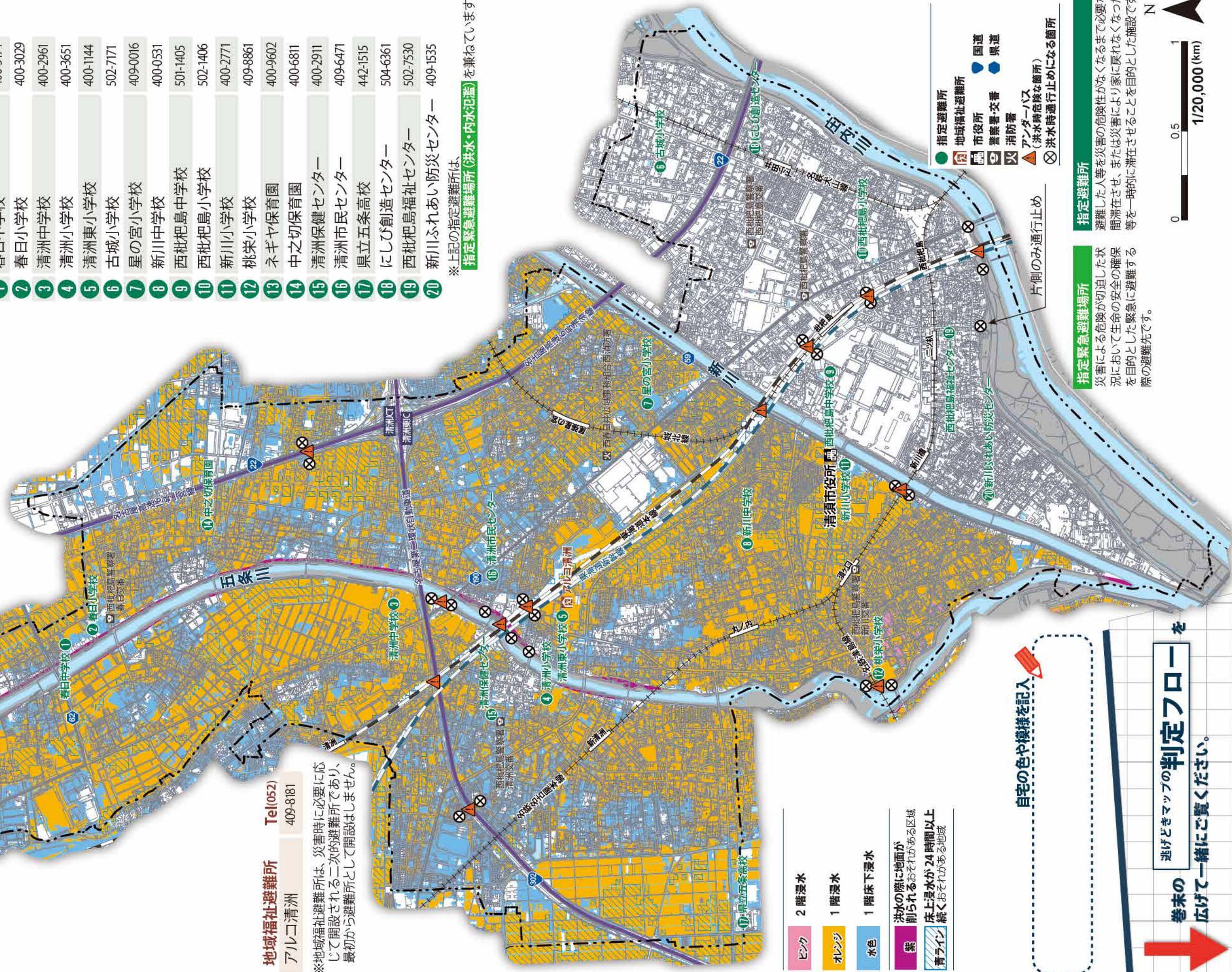
五条川（下流部）が氾濫したら

No.	指定避難所	Tel(052)
1	春日中学校	400-3174
2	春日小学校	400-3029
3	清洲中学校	400-2961
4	清洲小学校	400-3651
5	清洲東小学校	400-1144
6	古城小学校	502-7171
7	星の宮小学校	409-0016
8	新川中学校	400-0531
9	西枇杷島中学校	501-1405
10	西枇杷島小学校	502-1406
11	新川小学校	400-2771
12	桃栄小学校	409-8861
13	ネギヤ保育園	400-9602
14	中之切保育園	400-6811
15	清洲保健センター	400-2911
16	清洲市民センター	409-6471
17	県立五条高校	442-1515
18	にしび創造センター	504-6361
19	西枇杷島福祉センター	502-7530
20	新川ふれあい防災センター	409-1535

地域福祉避難所
アルコ清洲 Tel(052) 409-8181

※地域福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所であり、最初から避難所として開設はしません。

※上記の指定避難所は、指定緊急避難場所（洪水・内水氾濫）を兼ねています。



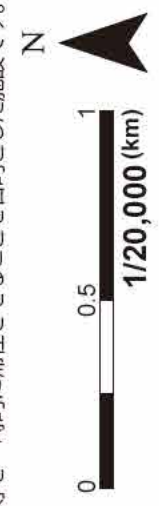
- ピンク 2 階浸水
- オレンジ 1 階浸水
- 水色 1 階床下浸水
- 紫 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域
- 青ライン 床上浸水が 24 時間以上続くおそれがある地域

自宅の色や模様を記入

巻末の
逃げどきマップの判定フローを
広げて一緒にご覧ください。

指定緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況において生命の安全の確保を目的とした緊急に避難する際の避難先です。

指定避難所
避難した人等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった人等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。



- 指定避難所
- 地域福祉避難所
- 市役所
- 警察署・交番
- 消防署
- アンダーパス
- 洪水時危険な箇所
- 洪水時通行止めになる箇所

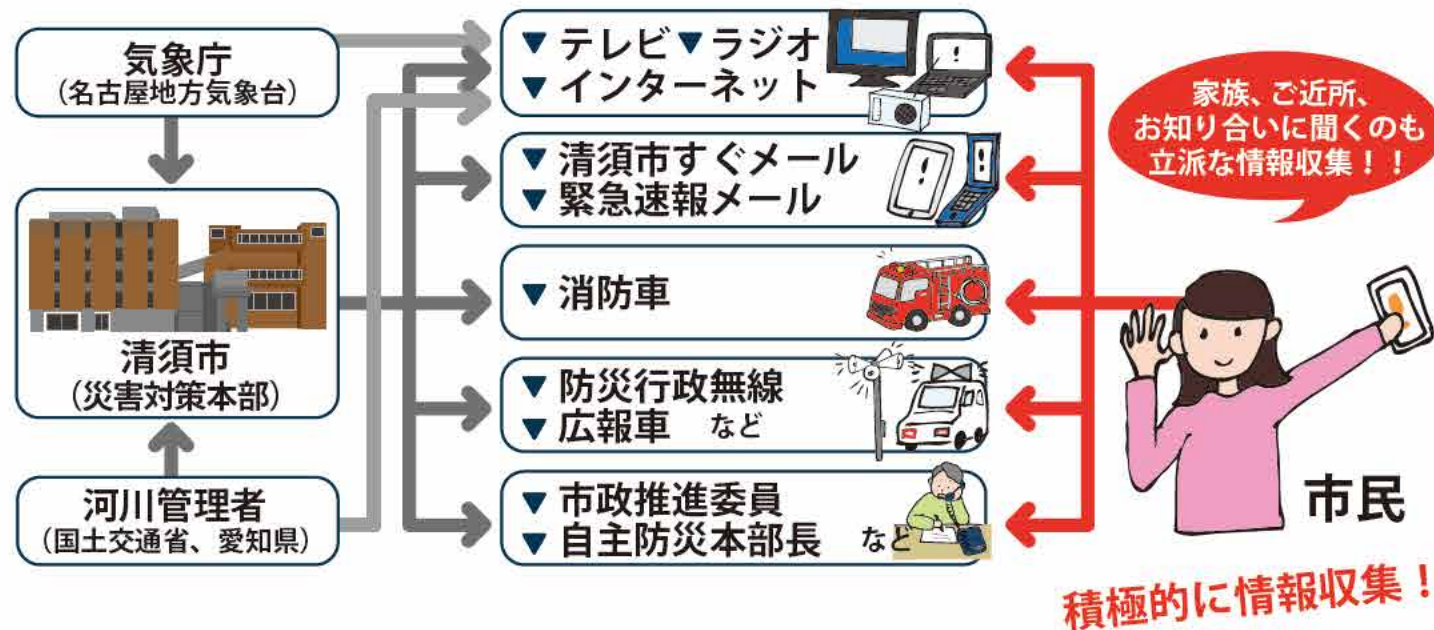
片側のみ通行止め

自宅の色や模様を記入

逃げどきマップの判定フローを
広げて一緒にご覧ください。

情報の入手方法

避難に関する情報は、多くの手段で入手することができます。
 こういった情報は、“待っていれば誰かが伝えてくれる”と考えずに、自ら積極的に入手しましょう。



情報の受け取り方



テレビで調べる

データ放送に対応しているテレビでは、「dボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

CH	NHK 総合 (名古屋放送局)
	クローバー TV (西尾張シーエーティーヴィー)
	スターキャット



ラジオで調べる

AM	NHK 第1	729 kHz	FM	NHK-FM	82.5 MHz
	CBC ラジオ	1053 kHz		FM AICHI	80.7 MHz
	東海ラジオ	1332 kHz		ZIP-FM	77.8 MHz



インターネットで調べる

清須市ホームページ

URL <https://www.city.kiyosu.aichi.jp/>

清須市に関する避難情報、緊急情報など

気象庁

URL <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象の注意報・警報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報など

国土交通省 川の防災情報

URL <https://www.river.go.jp/>

川の水位や流域の雨量の情報のほか、川のライブカメラ映像など

国土交通省 庄内川河川事務所

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>

庄内川上流域の水位観測データなど

国土交通省 防災情報提供センター

URL <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

川の水位や流域の雨量情報のほか、国土交通省が保有する防災情報など

愛知県

URL <https://www.pref.aichi.jp/>

愛知県全般に関する緊急情報など

愛知県 川の防災情報

URL <https://www.kasen-aichi.jp/>

名古屋地方の気象の注意報・警報、新川・五条川の雨量と水位など

名古屋地方気象台

URL <https://www.jma-net.go.jp/nagoya/>

名古屋地方の気象の注意報・警報、雨量観測データなど



メールで受け取る

登録制メール「清須市すぐメール」

事前登録必要

清須市では、防災情報等を登録制メールで配信しています。

登録方法 メールアドレス **t-kiyosu@sg-p.jp**

件名・本文は空のまま上記のメールアドレスにメールを送信してください。
 (右のQRコードからも登録サイトへアクセスすることができます)



PC・スマートフォン
をお使いの方

フィーチャーフォン
(ガラケー)をお使いの方

登録して
おきましょう

緊急速報メール (エリアメール)

登録不要

※設定が必要な場合がありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください。

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。



防災行政無線を
聞き逃してしまったら...

防災行政無線 (音声自動サービス)

TEL **(052)400-2913**

この番号へ電話していただくと、24 時間以内に
 防災行政無線で放送された内容を確認することが
 できます。

避難のための日頃の備え

1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

日頃から

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な方や乳幼児などへ優先的に配付されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、事前に背負ってみましょう。

■ 非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 携帯ラジオ | ☐ 予備の電池 | ☐ ロープ |
| ☐ ろうそく | ☐ 非常食 | ☐ マッチ・ライター | ☐ ティッシュ |
| ☐ ビニール袋 | ☐ 洗面用具 | ☐ タオル | ☐ 飲料水 |
| ☐ 缶きり・栓抜き | ☐ 下着類・衣類 | ☐ 医療品 | |



■ 家族構成によって必要なもの

- ☐ 粉ミルク ☐ 紙おむつ ☐ 生理用品 ☐ 高齢者や身体の不自由な方のための準備品（常備薬や介護用品）

■ 避難時の必需品

- ☐ 雨具（カッパ） ☐ 手袋 ☐ 清須市水害対応ガイドブック ☐ 貴重品（現金・保険証など）

■ あると便利なもの

- ☐ 毛布・寝袋 ☐ カセットコンロ ☐ 使い捨てカイロ ☐ 割りばし ☐ 床に敷くシート

2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

日頃から

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、普段から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも市が準備した避難所である必要はありません。浸水しない親戚宅、知人宅、職場など、市外も含めて避難先の選択肢になります。



3 余裕をもって早めに避難しましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難情報が届くのを待たずに自主的に避難を開始してください。



台風の接近や、大雨が降り続く予報の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。



自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を引き起こしますのでやめましょう。どうしても自家用車での避難をしたい場合は、さらに早めの避難開始が必要です。



7 地域で協力を

避難する場合には、周囲の人達に声をかけあいましょう。

高齢者や身体の不自由な方など、避難に時間を要する人については、避難準備・高齢者等避難開始などを参考にして早めに避難させるようにしましょう。

普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、災害による犠牲を防ぎましょう。

6 市指定の避難所での注意点

水害時に開設される市指定の避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することとなります。大声を出したり騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。



5 避難のときの注意点

浸水の中を避難するのは大変危険です。周囲に危険を感じたときは、高く丈夫な建物に駆け込みましょう。

浸水の中を避難するのは危険です



高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

通行止め

アンダーパス等が冠水して通行できなくなる場合、エアード展開する遮断ポールや、トラ柵、ブロックなどにより、通行人・通行車両に通行止めの警告を行います。

逃げどきマップではこのマーク

エアード遮断機



避難のときに
危険な箇所



浸水した道路は、用水路や側溝、マンホールなどが見えなくなり、落ちることがあります。



増水した水路や川に近づいたり、横切るとはやめましょう。

4 ご近所に声をかけ一緒に避難しましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。

避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。



自宅滞在する際の備え

1 備蓄品を準備しておきましょう

ライフラインの停止は長期に及ぶ可能性もあります。ライフラインが復旧するまでの数日間のために、飲料水や食料などの備蓄があると安心です。

- 日頃の買い置き ▶ 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す(ローリングストック方式)
- 7日分以上の食料 ▶ 水を加えて食べられる米(アルファ化米)、缶詰、乾パン、インスタント・レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- 飲料水 ▶ 大人1人当たり1日3リットル
- トイレ用品 ▶ 簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトーパー
- 燃料 ▶ カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料

ローリングストック方式

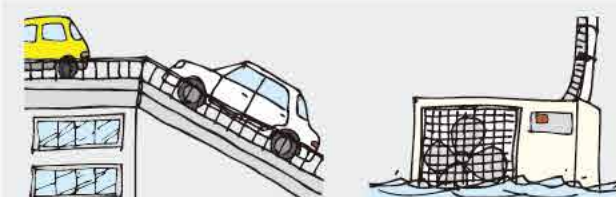
賞味期限切れになってしまう前に消費する経済的な方法です。



2 家屋や家財の被害を軽減しましょう



できる限り家財を高いところへ上げましょう。



屋外の作業は大雨が降る前に



物干しざおや物干し台は寝かせ、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは、室内に入れておきましょう。窓や屋根の補強などは、早めに終わらせておきましょう。



3 周囲が浸水してからは自宅外避難しない

洪水時において安全に自宅滞在が可能か否かは、『逃げるべきマップ』(P09-16)でご確認ください。



4 身の安全を確保しましょう

水圧でドアが開かなくなり危険です。地下室や低い場所での滞在は避けましょう。

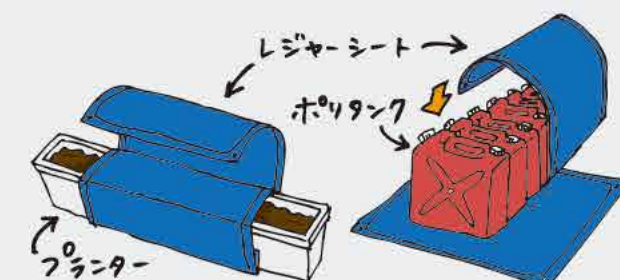


簡易水防工法で浸水を防ぎましょう。

簡易水防工法は、家庭にあるものを使って家屋への浸水や流入を防ぐ方法で、水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口のみならず、床下への浸水の防止も重要です。



40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



水を入れたポリタンクや土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう。

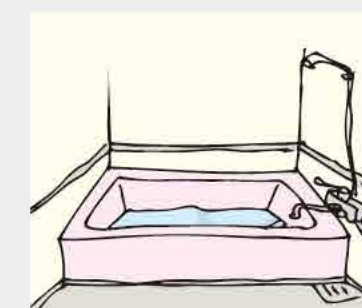
建物の周辺が浸水すると、下水が逆流して、排水口などから水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋などを置いて、逆流を抑えましょう。



下水が逆流すると、トイレから水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋などで重しをしましょう。



床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて水が入ってくる場合があります。重しをして浸水を防ぎましょう。



風呂の浴槽の水は流さずに溜めておきましょう。下水の逆流を防ぐことができ、生活用水としても利用することができます。